

三木市記者発表資料 (令和4年11月18日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 縁結び課	課長 成瀬拓生 (内線 2382)	地方創生係	0794-82-2000 (内線 2484)
教育総務部 教育施設課	課長 荒田知宏 (内線 3565)	給食係	(内線 3519)

タイトル	
「大豆で美味しく世界を救う」 プラントベースフード※で学ぶ SDG s 近畿大学×大塚食品@別所小学校での環境・食育学習を実施	
内 容	
<p>このたび、三木市では、2019年に連携協定を締結した株式会社官民連携事業研究所との協働事業として、SDG s 推進に向けたフードロス削減事業に大塚食品株式会社とともに取組めます。</p> <p>今回、第2弾の企画として、小学5年生を対象としたSDG s の授業を近畿大学保本講師、大塚食品株式会社が総合学習の授業を通じて行います。</p>	
1 日 時	11月22日(火) 午前10時45分～11時30分(5年2組 27名) 午前11時35分～午後0時20分(5年1組 28名)
2 講 師	近畿大学総合社会学部 保本講師 大塚食品株式会社
3 場 所	別所小学校(別所町西這田573番地)
4 内 容	講話、大豆ミートを含むプラントベースフードの試食など
5 目 的	大豆ミートを通じて「環境問題」「食糧問題」等について考え、これから未来を生きる子どもたちに環境的な知識の習得だけでなく、大人たちが取り組む具体的な活動や商品を通じた環境への関心、配慮の気持ちを養う機会を創ること。
<p>※プラントベースフードとは、動物性原材料ではなく、植物由来の原材料を使用した食品のこと。このような植物由来の原材料を使用し、畜産物や水産物に似せて作られていることが特徴です。(消費者庁資料文引用)</p>	
セールスポイント	
<p>令和3年8月に実施した第1弾、賞味期限を数カ月残した大塚食品株式会社が製造する飲料水『MATCH』を市内イベント等で活用し、COOL CHOICEを推進しました。この度は、公民連携によりSDG s 持続可能な社会構築に向けた社会貢献、フードロス削減に係る取組の第2弾として、大塚食品株式会社と近畿大学と連携した事業です。未来を生きる子どもたちが、「環境問題」や「食糧問題」などについて考え、自分事として考える機会を創ることで、新たな学びの機会を産官学連携により創出する取組です。</p>	